

2026 年 9 月 7 日

報道関係各位

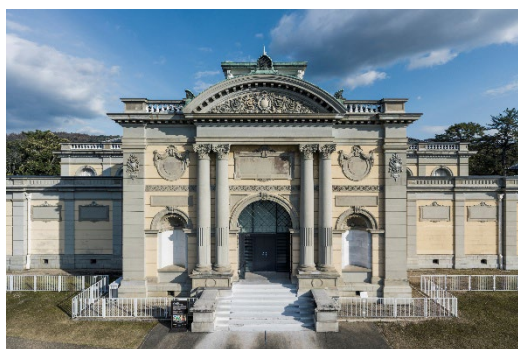
独立行政法人国立文化財機構 奈良国立博物館

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学

奈良国立博物館と奈良先端大が包括連携研究協定を締結

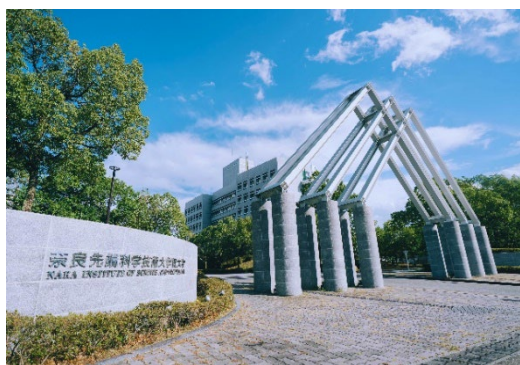
～奈良から始まる文化×先端科学の共創に取り組む～

奈良国立博物館（奈良県奈良市、館長 井上 洋一）と奈良先端科学技術大学院大学（奈良県生駒市、学長 塩崎 一裕）は、1,300 年の歴史を有する古都奈良の地において、博物館と先端科学の知の共創のもと、文化財の保存・修復・調査研究・活用・人材育成等に関する包括的な連携協定を締結します。本協定は 2026 年 9 月 7 日に締結し、協定に基づく取り組みを今後 5 年間にわたり実施する予定です。



奈良国立博物館

奈良国立博物館（以下、「奈良博」）は、明治 28 年（1895 年）の開館以来、仏教美術および奈良を中心とした文化財について、収集、保存、管理、展示、調査研究、出版や講演会などを通じた教育普及事業等を行っています。2025 年の開館 130 年を機に「新奈良博宣言」を発出し、1. 「なら」の魅力の国内外への発信と未来への継承、2. 仏教美術の研究拠点化、3. 誰もが「やさしくなれる」展示空間や施設設備の充実とホスピタリティの向上、を目指しています。この実現や具体化には、文化財のデジタルアーカイブや先端科学技術を活用した多彩なコンテンツの展開方法も含まれますが、博物館の有する人的リソースのみでは、当該分野の研究や活用方法の検討が十分ではないという課題がありました。



奈良先端科学技術大学院大学

奈良先端科学技術大学院大学（以下、「NAIST」）は、科学技術分野に特化した国立の大学院大学として平成 3 年（1991 年）に開学しました。文理を問わず様々な大学・学部で学んだ国内の学生に加え、世界約 50 か国・地域から学生を受け入れており、トップレベルの研究者・教員が世界中から集まっています。この多様性が最先端研究の原動力となり、

異なる視点・アイデア・アプローチが結集し、日々新発見や新技術が生まれています。

そこで、奈良博と NAIST の二者の地の利と、情報科学をはじめとする NAIST の先端研究や国際学術研究拠点としての強みを生かし、両者の相乗効果を遺憾なく発揮することによって、共創連携による文化学術研究と「知の社会還元」に資する取り組みを展開します。

取り組みの概要

奈良博・仏像館は、2026 年 9 月から約 1 年半の間、改修工事のため休館を予定しています。その間を利用し、仏像館の南接する青銅器館 1 階（名品展「中国古代青銅器〈坂本コレクション〉」）、2 階（名品展「ナラハク仏像セレクション」）の展示物について、NAIST の複数の研究室と、AI を活用した鑑賞体験の再設計やサービスの在り方などの研究と概念実証の取り組みに着手します。仏像館のリニューアルオープン前後の実証研究を経て、同館の展示物について、研究員と AI の協働による専門知の構造化や、能動的に思考する対話型鑑賞への運用実装につなげることを目指します。将来的には、仏像館の展示から得られる作品情報のみならず、所蔵先でもある近隣社寺の情報や文化財の歴史紹介などを加え、研究開発や機能の追加を重ねます。加えて、奈良博と NAIST の複数研究領域の融合によって、鑑賞ルート最適化、没入感や文化体験の好感度をアップする関連テーマの組成など、多岐にわたる研究開発にも順次挑戦してまいります。

このように、文化財の宝庫である奈良博の130年の知に、NAISTの先端知を掛け合わせることで、博物館収蔵品に関する新たな研究や気づきが生まれ、一人ひとりにやさしい鑑賞体験を実現した未来の仏像館が、訪れる人と地域の文化財をつなぐ「ハブ拠点」としての役割を果たすことなどが期待できます。

報道機関からのお問い合わせ先

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 企画総務課 渉外企画係

FAX: 0743-72-5011

Mail : s-kikaku@ad.naist.jp

国立文化財機構 奈良国立博物館 学芸部企画課広報室

FAX: 0742-22-7221

Mail: koho_narahaku@nich.go.jp